



令和元年9月13日	
所属	歴博・文化財担当
所属長	楞野 一裕
電話	06-6489-9801

【取材のご案内】戦国歴史ウォーク「^{とまつじょう}富松城から有岡城まで」を開催

1 趣 旨

今から約470年前の戦国時代、三好長慶^{みよしながよし}は敵対する伊丹親興^{いたみちかおき}が籠城^{ろうじょう}する伊丹城を攻略すべく、御願塚^{ごがづか}などに軍勢を配置して伊丹城を包囲し、自身は富松城に入城します。その後、伊丹親興との和睦^{わぼく}により伊丹城を開城させて摂津地域を平定した三好長慶は政権を掌握し幕府の実権を握ります。

こうした歴史的な出来事にちなみ、当時の土塁^{どるい}や堀跡が現存する富松城跡を出発し、伊丹城包囲拠点のひとつとなった御願塚(古墳)を経て、伊丹(有岡)城までを、「三好勢^{みよしぜい}」になったつもりで踏破し、当時の戦乱の歴史を迫体験するウォークを「富松城跡を活かすまちづくり委員会」との共催で開催します。

ぜひ、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

- ☞ 天文18年(1549)8月、三好長慶が御願塚・森本^{こや}・昆陽などに軍勢を配置し、伊丹城を包囲する(『細川両家記』)。
- ☞ 天文19年(1550)1月、三好長慶が富松城に入城して伊丹城攻めに向けて準備を整えていたところ、伊丹親興との和睦が成立し、3月に伊丹城開城(『細川両家記』)。
- ☞ 天正2年(1574)11月、伊丹城が荒木村重^{あらかむらしげ}に攻められて落城する。伊丹城に入城した荒木村重は「有岡城」に改名するとともに、侍屋敷・町屋を取り込んだ惣構え^{そうかま}の城として大規模な改修を行ったため、伊丹城の詳細は分かっていない。

- 《ねらい》
- ① 富松城にまつわる歴史を知ってもらう
 - ② 富松城の地理的な環境を知ってもらう
 - ③ 歴史遺産を活かした市民との協働のまちづくりを盛り上げる

2 実 施

主催:尼崎市教育委員会

共催:富松城跡を活かすまちづくり委員会(代表:富松神社宮司^{よしみひさお}善見壽男氏)

※富松城跡を保存・活用しまちづくりに活かす活動に取り組んでいる地域団体



▲昨年実施の歴史ウォーク「富松城から尼崎城まで」の様子

3 日 時

令和元年9月28日(土) 午後1時～4時30分(予定) ※小雨決行

4 集合場所

富松城跡(尼崎市富松町2丁目409) ※阪急武庫之荘駅から北東へ徒歩約15分

5 解散場所

有岡城(本丸)跡(伊丹市宮ノ前3丁目) ※JR伊丹駅前

6 コース【距離約6km】

富松城跡 ⇒ 御願塚古墳 ⇒ 杜若寺墓地(道標) ⇒ 鷺塚砦跡 ⇒ 上臈塚砦跡
⇒ 伊丹郷町館 ⇒ 有岡城(大溝)跡 ⇒ 有岡城(本丸)跡

※古地図を片手に尼崎－伊丹道、大坂－伊丹道などの旧街道を辿り、尼崎市立文化財収蔵庫学芸員の解説も交えながら有岡城を目指します。

7 その他

参加者数は定員の40人に達しており、申し込みは締め切りさせていただいております。



◀ 富松城跡を活かすまちづくり委員会製作の藍染めの[のぼり]と武者・雑兵

今回も同委員会メンバーが「のぼり」を掲げ「雑兵」2名が先導します。また、「武者」1名が途中の解説ポイントで参加者を出迎えるほか、有岡城ではともに行軍する

以 上